

## 平成26年度学校評価実施報告書(定時制)

次のとおり学校評価を実施しましたので報告します。

学校目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価	学校評価
	具体的な手立て	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		
1 幅広い学習ニーズに対応する多様な教育を展開する	単位制システムを十分に活用した生徒支援を行う。生徒個々の学習ニーズにあった支援体制の一層の充実を図る。学習指導要領の趣旨を踏まえつつ、本校で育てたい生徒像を反映した教育課程となるよう、見直しを含めて分析・検証する。	生徒に本校の単位制としての取組を理解させるとともに、生徒個々に対して面接を積極的に実施し、個に対応したきめ細かで丁寧な指導が実施できたか。 育てたい生徒像にあった教育課程を編成できているか。	4月にオリエンテーション、9月に面談週間を実施した。個に応じた支援を行い、保護者にも丁寧に対応した。 幅広い知識・考え方が身につくよう、多様な選択科目を用意した。	単位制全体のシステムの理解と卒業まで見通した学習計画を立てることに不慣れな生徒がみられる。一層の個別指導が必要である。 新カリキュラム移行期に伴い、教育課程のスリム化を図る必要がある。	(保護者) 生徒一人ひとりの学習ニーズに応える丁寧なご指導をお願いしたい。 (学校評議員) 多様な生徒が学習する中で、学校を離れざるを得ない生徒に対する継続した支援も必要と考える。	(学校評価) 単位制システムを活用し生徒個々の学習支援を行うことができた。  (改善方策等) 育みたい生徒像を反映した教育課程の編成を進めていく。
2 心豊かで他者を思いやる人間性や望ましい社会性を育成する	学校行事、生徒会活動、部活動等を通して、心豊かで他者を思いやる人間性をはぐくむとともに、社会貢献やボランティア活動の一層の推進を図る。 学校生活の各場面において、きめ細かな指導を行い、基本的な生活習慣を確立し、社会の一員として自律できる規範意識や公正な判断力をはぐくむ。 学校全体でいじめの防止と発見に取組み、すべての生徒が安心して学習やその他の活動が行えるように努める。	生徒主体で学校行事の運営ができたか。生徒の社会貢献やボランティア活動への参加意欲が見られたか。総合的な学習やホームルーム活動を通じて、他者理解の心育む取組みができたか。 一般社会に受け入れられる態度や行動がとれるなど、生徒のマナー意識が向上したか。  教育相談コーディネーター、スクールメンター、スクールカウンセラー等の支援体制を機能させ、保護者、地域住民他関係者との連携を図りながら、いじめ防止対策検討会議等を通じて、適切に生徒支援を行えたか。	○全定合同開催の文化祭や定時制単独開催の体育祭、球技大会、定時制の文化発表会である南定祭、全ての行事において生徒実行委員会が主体に企画、運営を行った。 ○老人ホームでのボランティア活動や地域の夏祭りに協力参加し地域住民との交流を深めた。 ○養護教諭、スクールメンター、担任等複数の目で生徒の観察を行い、支援体制の充実と生徒と職員の信頼関係構築を図った。	○全日制生徒との交流の機会を増やし相互の理解を一層深めることができることよい。 生徒主体の行事全体に発展性を持たせたい。 ○多くの生徒がボランティア活動や社会貢献活動に関心を持つよう、一層の働きかけが必要である。 ○教育相談コーディネーターを主軸に校内支援体制を整備し、外部機関との連携を取りながら、より組織的な取組としたい。	(保護者) 生徒主体で運営する学校行事で、保護者として協力していきたい。  (学校評議員) 携帯電話等、SNSに関わる課題への対応を期待する。	(学校評価) 行事を通して、自尊感情や他者理解の心の育成に成果が見えた。行事に関わるものが一部の生徒であり、より多くの生徒の参画が望まれる。部活動等の協力を得ながら、学校全体での取り組みを一層進めたい。 (改善方策) 生徒会を中心に、協力体制の拡大を図りながら、教員による側面支援をお願いする。

<p>3 教科指導を充実し、「確かな学力」を身に付けさせる指導を行う</p>	<p>基礎基本を大切に、学力の定着を図るため、分かる授業の実践に努める。</p> <p>生徒による授業評価等を活用し、授業研究会等の機会を通じて、授業力向上のため、組織的な授業改善に取り組む。</p>	<p>教材の工夫や授業の振り返り等を十分に行い、分かる授業を意識、生徒の学習に取り組む態度を養うことができたか。</p> <p>授業研究会や研究協議会を充実させ、組織的な授業改善のための取り組みが進んだか。</p>	<p>2週間の授業研究週間を実施。公開授業 38 コマ、授業参観者のべ 89 名があった。</p> <p>生徒による授業評価は概ね高い評価が出されている。</p>	<p>教科単位での振り返りを徹底する等、より組織的な取組としたい。</p> <p>講義中心となつてしまい、生徒の能動的な学習活動が不十分な教科・科目がみられた。</p>	<p>(保護者) 生徒の授業評価は概ね良好である。</p> <p>(学校評議員) つけさせたい力を意識した授業改善を期待する。個の力を集結した組織力を期待する。</p>	<p>(学校評価) わかる授業を、生徒の学習意欲に繋がるよう工夫したい。</p> <p>授業研究週間をより組織的なものとするよう、統一テーマの設定など工夫したい。</p> <p>(改善方策等) 授業評価結果を活用する。</p>
<p>4 「魅力と活力ある学校づくり」を推進し、主体的に進路を構築する生徒を育成する</p>	<p>生きる力に結びつく能力をはぐくみ、将来のキャリア形成のために、生徒一人ひとりの適性等に沿った進路実現を支援する。</p> <p>学校内外の人的資源を活用した進路指導、キャリア教育を推進して、主体的に考える力と進路に対する意識喚起を図る</p>	<p>面談等をきめ細かに実施し、生徒個々の適性に沿った進路指導を行うことができたか。希望する進路を実現させることができたか。</p> <p>卒業生や外部講師による講演会等、キャリア教育の機会を年間 10 回以上設けたか。</p>	<p>総合的な学習の時間を中心に卒業生・外部講師等による実践的なキャリア教育を鋭意実施し、生徒の進路に向けた活動がいっそう活発になった。</p> <p>同窓会や外部機関と連携し生徒の意識啓発の機会を設けた。</p>	<p>経済的問題や学力不足等、個々に抱える課題は多様である。アルバイトと正規採用の違いを強く指導し、就労への意識改善を図りたい。</p> <p>同窓会の協力を継続し、先輩からの助言をより効果的に活用したい。</p>	<p>(保護者) 同窓会からの物心両面による協力に感謝したい。</p> <p>(学校評議員) 進路実現に向けて、生徒の意識改革の難しさを理解した。</p>	<p>生徒をとりまく環境は依然厳しい。粘り強く指導を継続したい。生徒の適性に沿った進路指導としたい。</p> <p>(改善方策等) 面談等、個々への働きかけを大切にしたい。</p>
<p>5 地域との協働・連携による開かれた学校づくり</p>	<p>地域貢献活動、美化活動、環境に配慮した活動等の一層の推進を図る。</p> <p>ホームページや学校説明会等の広報活動の内容をさらに充実させ、開かれた学校づくりを一層進める。</p>	<p>地域貢献活動や環境に配慮した活動を 10 回以上取り組んだか。生徒が自ら校内美化に努め、学習環境を整えることができたか。</p> <p>ホームページの更新を頻繁に実施できたか。学校説明会等の広報活動を充実させ、本校への理解度を高めたか。</p>	<p>○学校、警察、自治会と連携して、月 1 回少年サポートチームを計画実施した。</p> <p>職員による巡回、立ち番の実施で落ち着いた学習環境を維持している。</p> <p>学校説明会を 3 回計画し、本校理解の一助とした。</p> <p>ホームページでは、学校情報をいち早く掲載するよう努めた。</p>	<p>○地域の中で生活する一員として自律する規範意識や公正な判断力を持てるよう HR 活動や生徒会活動を通じて生徒に呼びかけていく必要がある。</p> <p>ホームページは、さらに見やすい掲載方法の工夫、古い内容の更新を進める必要がある。頻繁な更新作業に努める。</p>	<p>(保護者) ホームページの更新をお願いしたい。</p> <p>(学校評議員) 警察、地域との連携による取組は、学校へのより一層の理解と協力につながると思う。</p>	<p>地域からの理解に繋がる活動を継続したい。巡回指導等を通して、マナーやルールの遵守を徹底したい。</p> <p>ホームページを情報発信の手段として充実させたい。</p> <p>(改善方策等) 巡回指導等で、規範意識の啓発を図る。ホームページのレイアウト等の工夫に努める。</p>

<p>6 安全・安心で信頼される学校づくりを推進し、事故・不祥事の防止を徹底する</p>	<p>事故・不祥事防止について不断の意識徹底を図り、事故・不祥事の根絶に努めるとともに、保護者、県民への丁寧な対応に努める。 学校における安全・安心の確保に努め、実際の・具体的な対応を図る。生徒の安全・安心に対する意識を向上させる。防災訓練を充実させる。</p>	<p>事故不祥事防止会議を毎月開催し職員の意識の徹底を図ったか。個人情報漏洩、不適正経理等の事故を0にできたか。保護者、県民への対応にかかる意識が向上したか。 防災・防犯の設備を整え、生徒の安全・安心に対する意識を高める指導ができたか。様々な災害状況を想定した防災訓練が実施できたか。緊急時における人員掌握および保護者への連絡体制を整えたか。</p>	<p>○事故不祥事防止会議を毎月実施した。 より実態に沿った内容とするため、暗闇の中での避難訓練を計画した。災害時の備蓄食料をPTAの協力の下、順次整備した。 AEDによる救急救命法研修や地域と共催した防災訓練を実施した。 ○校内防犯カメラの増設を行い、生徒の安全確保に役立てた。</p>	<p>○総括教諭等による事故防止会議の開催を工夫したい。 実施形態や内容を工夫し、防災訓練を繰り返し実施し、さらに防災意識を高める必要がある。 てんでんこ湘南も3回目となり、運営方法等、見直しの時期である。 防犯カメラの増設で、死角となる場所の把握が容易になった。</p>	<p>(保護者) 災害時の学校の役割は大きい。 地域との合同の訓練は継続して行ってほしい。 (学校評議員) 災害はいつどこで起こるかかわからない。被災した場所時間により適切な行動が取れるよう日頃より注意したい。</p>	<p>事故不祥事ゼロ運動を継続する。日頃より風通しのよい環境を維持する。 防災関係の取組の見直し、改善を図る。 (改善方策等) 実態に沿った避難訓練の計画を検討する。</p>
--	---	---	--	--	---	---